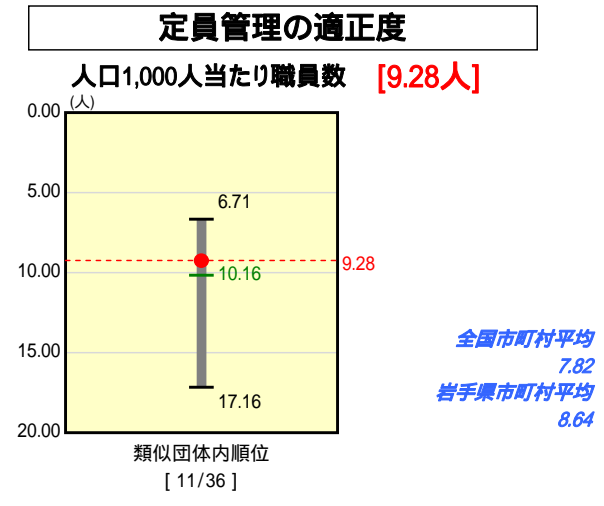
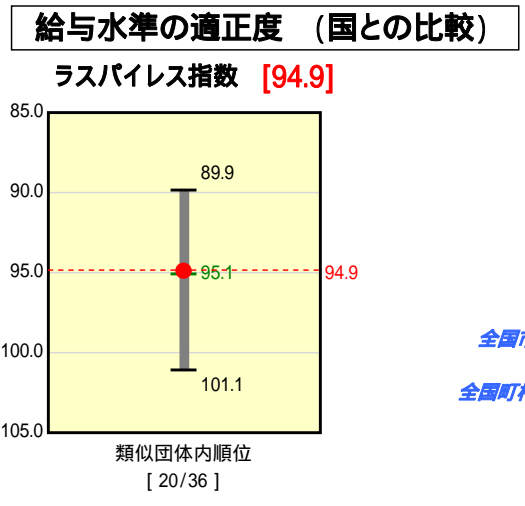
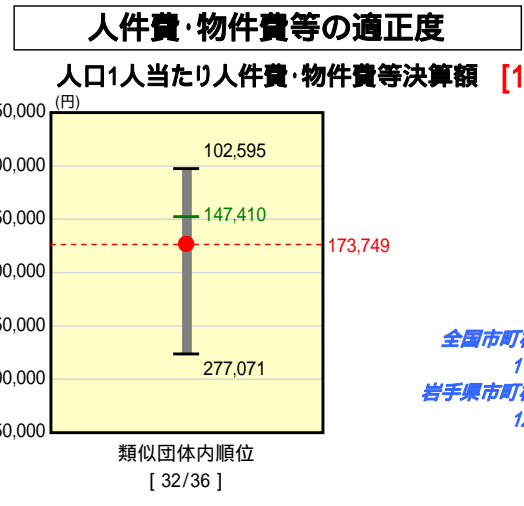
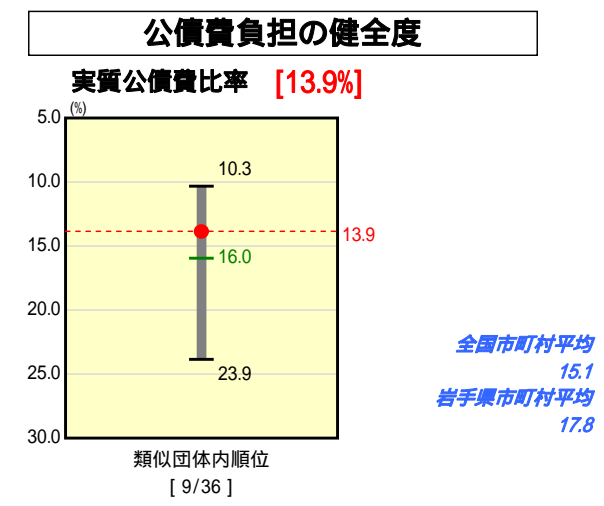
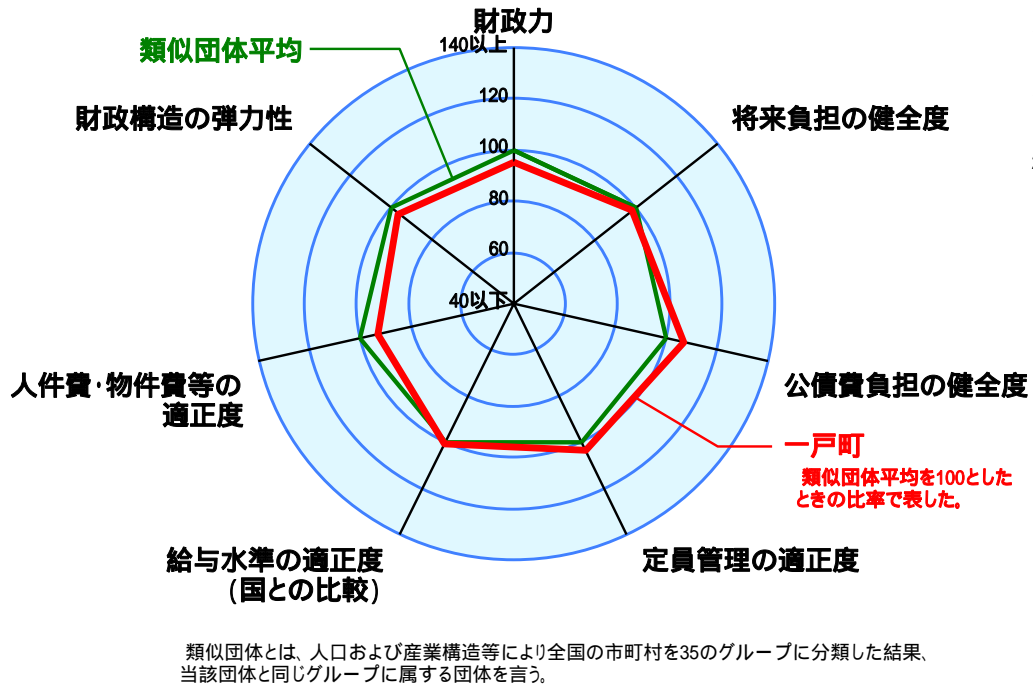
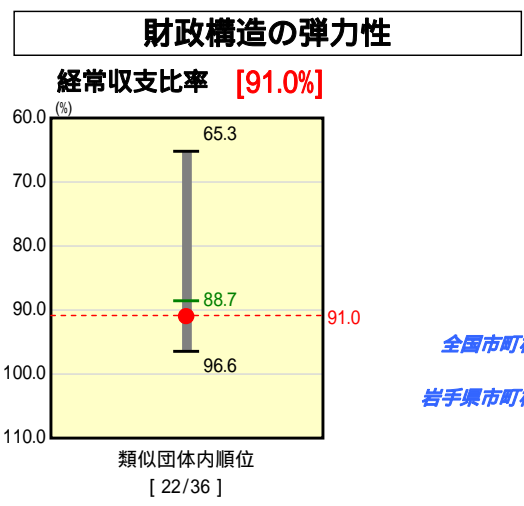
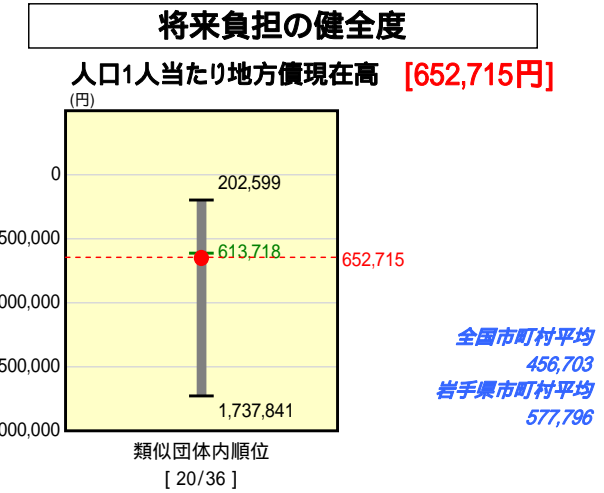
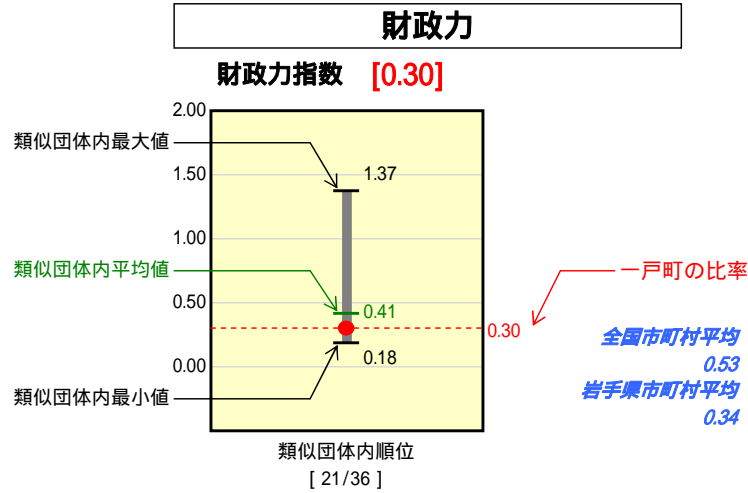


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 岩手県 一戸町

人口	15,514	人(H19.3.31現在)
面積	300.11	km <sup>2</sup>
歳入総額	7,505,398	千円
歳出総額	7,193,461	千円
実質収支	212,265	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数** 平成14年度より、連続した伸びをみせているものの(0.267、0.284、0.297、0.300)、類似団体と比較すると平成18年度で0.11ポイント下回っている。要因としては、基準財政需要額、特に公債費が多額であることがあげられる(1,333,984千円、前年度比241千円増)。今後は、投資的経費の抑制により地方債の新規発行の抑制に努める(H24年度時点で投資的経費 6%)。また、基準財政収入額についても、類似団体を大きく下回っているため、岩手県地方税特別滞納整理機構と連携し引き続き地方税の徴収率向上に努める(H17実績:89%、目標値:92%)。

**経常収支比率** 平成14年度以降、90%を超える高い比率で推移している。類似団体平均を上回る要因は、公債費及び物件費への充当一般財源が多いことである。公債費については、今後の新規発行の抑制に努める(H23以降新規発行額を5億円以内に抑える)。また、物件費については、各種施設の管理運営に係るものが多額であり、指定管理者制度等の導入をさらにすすめ、削減に努める(目標値:H23でH18比較 5% 1,230,000千円)。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額** 類似団体平均の約1.2倍の数値となっている。物件費については、各種施設の管理運営に係るものが多額であり、指定管理者制度等の導入をさらにすすめ、削減に努める(目標値:H23でH18比較 5% 1,230,000千円)。

**人口1人当たり地方債現在高** 類似団体平均の約1.1倍の数値となっている。各種整備に対する地方債発行額が多額であったことが要因である(例 H13御所野遺跡史跡公園整備事業:総事業費7.2億円のうち町債3.9億円)。地方債現在高については、新規発行を控えてきたこともあり年々減少傾向にあるが、今後においても、中長期的な地方債発行の見直し(H23以降新規発行額を5億円以内に抑える等)を行い、改善に努める。

**実質公債費比率** 類似団体平均より2.1ポイント低い数値である。元利償還金については、年々減少傾向にあるが、今後においても、中長期的な地方債発行の見直しを行い、改善に努める。

**人口1人当たり職員数** 類似団体平均とほぼ同じ水準であるが、定員適正化計画に基づき適正化に努める。適正化計画の内容は、平成18年度～平成22年度の間に、退職者不補充や業務の見直しによる民間委託の推進等により、職員数を35人(19.4%)削減するものである。

**ラスパイレス指数** 類似団体平均とほぼ同じ水準である。給与と構造の抜本的な見直しである平成17年度の人事院勧告の内容に沿った改正をしているため、給与水準については、国及び県に準じた内容となっている(当初予算 41,861千円)。今後も引き続き給与の適正化に努める。